

中国観音靈場会 観音だより

観音ラブレター

No.48

ありがとうございます 中国観音靈場会が 開創30周年を迎えました！

●編集・発行 中国観音靈場会青年部
〒755-0067 山口県宇部市小串210 宗隣寺内
TEL 0836-21-1087 FAX 0836-21-1137

当日の主な予定
*本尊十一面觀世音菩薩特別開扉
*日中韓合同法要
*一般若経転説法会
午後より地元寺院にて厳修)

期間／平成二十三年九月十七日（土）

場所／第二十二番札所 多陀寺（島根県）

お問い合わせ ☎ 0855-281-0677（多陀寺）

開創三十周年合同大法要

中国観音靈場会

平和の灯火 祈りのリレー

採火式

五月十六日（月）午後三時

場所／広島平和公園

リレー巡礼 六月二十二日（水）出発 全三十七寺院を巡る

◆九月十日（土）十四時～十五時
「古代の海商と中国舟山群島」
「観音信仰の担い手たち」

関東学院大学経済学部教授

田中史生先生
「観音との出会いの旅」特別展
観音巡礼

中国観音靈場会では、皆様により親しんで戴くために「中国観音友の会」を作り、右の要項で活動して参ります。多くの方とご縁を結ばせていただき観音信仰を深めて参りたいと思いますので、この機会にご入会いただきますようご案内申し上げます。

詳しいお問い合わせは

中国観音靈場会「中国観音友の会」事務局
〒729-0471 広島県三原市高坂町許山22 佛通寺内 TEL 0848-66-3502 FAX 0848-66-2563中国観音靈場会ホームページ！ <http://kannon.org>

中国観音靈場先達会

本部直属 関西支部 水沼容亘

先達だより

Q 最近は、ほとんどが火葬ですが、土葬してもよいのでしょうか。（60歳・男性）

A 観音様のおかげを頂いてまいりました。おかげを頂ける事が私にとっての「癒しの巡拝」であり、癒すことの出来る中国観音靈場であればこそ、今日まで巡拝を希望される方が続かれています。今後も、より良き先達として皆様を導けるよう精進してまいりたいと思います。

南無大慈大悲觀世音菩薩

仏像ブーム、巡礼ブームと言われている昨年、巡礼について、大学の先生方はスタンプ巡礼と言っています。私も同感の人です。私達先達はお寺参りをされる方の気持ちを充分に理解し、そのお気持ちを活かすように努める必要があると思います。作法勤行等をしつかりと正しくお伝えし、本堂（観音堂）に上がり、佛様の前でおつとめします。そして、佛様の見方、佛様の違い、印相の組み方等も具体的に説明して差し上げます様、心がけております。中国観音靈場は三十七ヶ寺のうち、三十二ヶ寺もお寺が堂内でおつとめ出来ます。素晴らしいことです。各お寺の住職方々、先達の皆様のご協力を頂き、仏縁を頂く巡礼をし、観音様のおかげを頂いてまいりました。



墓地、埋葬等に関する法律では、土葬は禁止されていません。各市町村の裁量に任されています。東京都、大阪府、名古屋市は条例で禁止となっています。昭和三十七年私の祖父母も寺で土葬でした。葬儀をしない『直葬』が都会を中心に増加傾向の今日、我々は子供たちに「生きること」と同時に、「死ぬこと」の意味を仏教の教えを通して教えてゆかねばなりません。葬儀は死者を淨土へ「送る」ことで、単なる「別れの儀式」にならぬよう、今一度、生き観を考えてみたいのです。

編集後記

東北地方を震源とした、過去に例を見ない規模の広域巨大地震において、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、対象地域にお住まいの皆様とその関係各位に対してお見舞いを申し上げます。皆様のご家族、ご友人、ご知己の方々のご無事、ご回復をお祈り申し上げます。

南無大慈大悲觀世音菩薩 観音だより編集部 宗隣寺内 山中祐生 合掌

33

中国三十三觀音靈場会寺院

鳥取県	島根県	山口県	広島県	岡山県
第三十三番 特別靈場	第三十番 第十九番 第二十番 第二十一番 第十二番 第十三番 第十四番 第十五番 第十六番 第十七番 第十八番 第十九番 第二十番 第二十一番 第二十二番 第二十三番 第二十四番 第二十五番 第二十六番 第二十七番 第二十八番 第二十九番 第三十番 第三十一番 第三十二番 第三十三番	第十二番 第十三番 第十四番 第十五番 第十六番 第十七番 第十八番 第十九番 第二十番 第二十一番 第二十二番 第二十三番 第二十四番 第二十五番 第二十六番 第二十七番 第二十八番 第二十九番 第三十番 第三十一番 第三十二番 第三十三番	第十二番 第十三番 第十四番 第十五番 第十六番 第十七番 第十八番 第十九番 第二十番 第二十一番 第二十二番 第二十三番 第二十四番 第二十五番 第二十六番 第二十七番 第二十八番 第二十九番 第三十番 第三十一番 第三十二番 第三十三番	第十二番 第十三番 第十四番 第十五番 第十六番 第十七番 第十八番 第十九番 第二十番 第二十一番 第二十二番 第二十三番 第二十四番 第二十五番 第二十六番 第二十七番 第二十八番 第二十九番 第三十番 第三十一番 第三十二番 第三十三番
大觀音	摩三長清雲一鰐禪神多觀大功宗龍洞漢般大三佛向千西淨明円蓮法木誕正餘西	大觀音	摩三長清雲一鰐禪神多觀大功宗龍洞漢般大三佛向千西淨明円蓮法木誕正餘西	大觀音
尼佛谷山水樹烟淵定門陀音照山隣藏春陽若聖瀧通上光國土王通台界山生樂慶大院院寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺	尼佛谷山水樹烟淵定門陀音照山隣藏春陽若聖瀧通上光國土王通台界山生樂慶大院院寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺	尼佛谷山水樹烟淵定門陀音照山隣藏春陽若聖瀧通上光國土王通台界山生樂慶大院院寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺	尼佛谷山水樹烟淵定門陀音照山隣藏春陽若聖瀧通上光國土王通台界山生樂慶大院院寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺	尼佛谷山水樹烟淵定門陀音照山隣藏春陽若聖瀧通上光國土王通台界山生樂慶大院院寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺

観音巡拝指南書「The 觀音」＊靈場会寺院で500円にて販売中です！

観音様から「生きる力をいただく旅」、それが観音巡拝の旅。

寺院短信 第一番札所 (岡山県岡山市)

金陵山 西大寺

「神仏両参り」

「西大寺のパワースポット」

四年計画で進められた牛玉所殿大修復も昨年十一月に無事落慶を迎え、荒れ果てていた牛玉所殿の奥殿も整備開放されました。たちまち、ここに鎮守の牛玉所大権現をまつり、大きなご神木(楠)の周りを庭園として整備すると、日々参詣者が増え、「西大寺のパワースポット」として知られるよう

なりました。
「仏にあたる場所は本尊千手觀音をまつる牛玉所殿は「神」に当たります。今、古来より日本人が大切にしてきた神



寺院短信 特別靈場 (山口県平生町)

神峰山用明院 般若寺

発見!! 龍宮の西門

古来、瀬戸内海は「龍宮」と称えられていました。その龍宮の西の入口が、当山が守護してきたと伝えられる「大畠瀬戸」であると古文書には記されています。また、この「大畠瀬戸」に対して東の入り口は、世界三大潮流の一つ「阿波の大鳴門」とあり、瀬戸内海がいかに、我が国にとっての「龍宮」たる海産物豊かで、穏やかな、国の宝であったかと言う事を表しています。

幅約一キロ余りの小さな「大畠瀬戸」ですが、現在も潮の干満で大きな渦が出たり、そして、近年、瀬戸の近く、周防大島沖家室の海底に「二ホンアワサンゴ」の世界一の生息地が発見され、黒潮も流れ込む、正に「龍宮」だと言われています。

今から一四〇〇年前、その龍宮に住む「金龍神」を鎮めるべく、生贊となられた「般若姫」は、当山の聖観音さまと化身され、瀬戸を無事に超える「燈台」となる場所にお祀りされ、今も龍宮を鎮め、人々の進むべき道を示し続けておられます。当山の「仁王門」は、大畠瀬戸を背にして建ち、やはり龍宮に「魔」が入らないように、建立された門である事も最近判明しました。

この「仁王門」に、再び「仁王尊」が鎮座され、「龍宮の西門」が守られるようになると、現在「仁王門」の修復を計画中です。当山の「仁王門」は、大畠瀬戸を背にして建ち、やはり龍宮に「魔」が入らないように、建立された門である事も最近判明しました。

寺院短信 第二番札所 (岡山県岡山市)

金陵山 西大寺

「神仏両参り」

「西大寺のパワースポット」

仏西方に祈りを捧げられる聖域がしっかりと整えられました。

ぜひ西大寺の「神仏両参り」にお参り下さい。

寺院短信 第二十三番札所 (島根県出雲市)

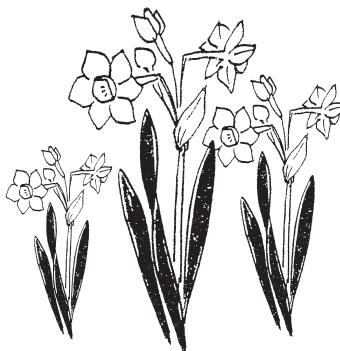
天応山 神門寺

お知らせ

本年は浄土宗の開祖法然上人の八百年大遠忌に当たり、全国の浄土宗の大本山においては大遠忌法要が三月から四月にかけて厳修されます。当山においても、その準備で昨年春より庫裡の屋根替え、本堂の雨除けの壁の改修（周囲三十六間）を今春まで行います。

工事期間中、皆様にご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。今年もまた靈場の巡拝シーズンを迎える季節となりました。どうぞお詣り下さい。

山主 合掌



寺院短信

第三十番札所 (鳥取県倉吉市)

打吹山 長谷寺

奉納 大絵馬群

平成二十一年度より、奈良元興寺文化財研究所で洗浄し、映像記録を撮っていた「絵馬群」が今年三月に倉吉の地に帰ってきます。ただ寺の本堂の絵馬収蔵庫の修理が終わらないと寺には戻りません。今秋には倉吉市立博物館にて展示する予定です。今回の赤外線写真撮影で今まで不明であった絵・文字を正確に読むことが出来、新たな発見が多くあります。



奉納者 師
奉納年代
大さき
倉吉淀屋
牧田仁右衛門
庸定
嘉永元年(1848)
タテ1060×ヨコ1720mm



中国観音靈場会ホームページ開設
<http://kannon.org>

